

# 日本共産党

## 平野光一

●「戦争法案」に反対表明を  
市長は平成26年、集团的自衛権行使容認について「必要」と答弁し、同時に「自衛隊員が危険な状況に巻き込まれざるを得ないことを強く認識し、政治家は説明する必要がある」とも述べた。しかし政府は「リスクは高まらない」と説明している。今国会での強行に反対し廃案を求めるべきだ。

●学校へのエアコン設置急げ  
市長は、これまでの議会で「重要な課題と認識している」と答弁しながら、記者会見では「暑いのが365日だったら考えなければいけないけど」などと、答弁を否定するに等しい発言をしている。直ちに計画をつくり設置準備に入るべきだ。

●市民健康保険事業について  
27年度版「かしわの国保」で保険料の値上げを示唆しているが、値上げをするつもりか。  
●保険料率の改定は所得と医療費の動向を見ながら対応する。  
●傷病手当16万円、家賃6万円、高額療養費自己負担分8万7000円の末期がんの人から月額2万円の滞納分の保険料を求める根拠は何か。  
●担当者は末期がんを知り得る状況ではなかった。  
●なぜ、本人の事情や資力について聞かないのか。  
●いろんな経過、資産、収入を観察して決めた。  
●生活保護について  
●7月から生活保護の住宅扶助基準が引き下げられるが旧基準額を適用できる場合は。  
●転居によって通院や通勤に支障を来す場合や、車椅子使用の障害者や高齢者で転居が困難な場合などは、引き続き現行の基準適用が可能である。7月1日からすぐに新基準限度額まで減額することはない。個々の状況に柔軟に対応する。  
●公共交通について  
●市役所へのバス、市内コミューンバスを求める声はさらに大きくなっている。計画は。

●全市民的な移動のしやすさ向上は欠かせないと認識している。市民ニーズや移動実態の把握に努めている。柏駅周辺を初めとして公共交通を見直していく。  
●水害対策について

●40年も水害で苦しめられてきた永楽台1丁目も水害解決に向け現地の調査をしたが、早急に対策を示してほしいがどうか。  
●国の交付金等の特定財源を確保しつつ、できるだけ早い時期に着手できるようにする。

●南柏駅東口交差点の改善  
●南柏駅の雨の日の渋滞は解消されていない。危険な交差点である。交差点幅幅についてどのように考えるか。  
●都市計画道路の整備プログラムの見直しを行うかどうかを含め、個別の整備を検討する。  
●沼南公民館  
●沼南公民館を近隣センターへ移行するなら、事業仕分けで廃止した生涯学習を近隣センター事業として位置づけるべきではないか。  
●生涯学習推進計画の中に位置づけ、実施していく。  
●介護保険制度  
●介護保険の利用料は所得によって2割負担が導入される。月3万8000円の介護利用料の方、2割負担になれば月7万6000円の利用料を支払わなければならない。「これ以上介護サービスを削っては健康を保つていけない」と心配していた。どのように考えるか。  
●高額介護サービス費として、ほとんどの場合は月額3万7200円までにとどまるものと思われる。制度の持続可能性からはやむを得ないものと考えている。

●利用者にとってサービス低下にならないように、また現場でも介護報酬の引き下げによって混乱も起きている。介護報酬の引き下げによる影響など事業所などにも調査をしていただきたいが、どうか。  
●可能な対応を図っていく。  
●重度心身障害者児医療費助成  
●窓口負担はなくして、これまでと同様に完全無料にすべきではないか。  
●受益者負担はやむを得ない。

●市立柏病院の建てかえ問題  
●市立柏病院の移転方針を撤回し、現地建てかえの決断を。  
●町会との意見交換会を通じて市民の声をしっかりと伺っていく。  
●意見を聞いた結果、市長の考えが変わるといふこともあり得るのか。  
●総合的な形で判断したい。  
●つくばエクスプレスの改善  
●つくばエクスプレス混雑緩和の決め手は8両編成化である。株主として強く要請すべきではないか。  
●株主総会後に、8両編成化の要望書を提出する予定である。  
●6カ月の通勤定期代を比較すると、JRより5万円以上高い。運賃や定期代の引き下げを求めるべきではないか。  
●通学定期の割引率は努力してほしい。適宜要望していく。  
●保育園待機児童解消  
●ことしの4月1日時点で41人の入園保留者がいる。現時点では何人か。  
●6月1日時点で132人。  
●直ちに入園保留者ゼロを目指すべきではないか。  
●潜在的な保育需要を考慮しながら計画的に整備していく。  
●車での送迎がふえている。駐車場は市の責任で確保すべき。  
●近隣の民間駐車場を確保するなど、対策に取り組む。  
●選挙における投票率向上  
●高田原ふるさと会館から柏

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●地域で見守り、支える子育て子ども一〇番の家と子ども接点をふやす取り組みを。日常から体制を整えたい。  
●居場所づくりや貧困対策として、子ども食堂を推進しては。実態を調査し、検討する。  
●子ども子育て支援制度  
●小規模保育園への見解は。  
●こども園と私立認可保育園を優先し、補完的に整備する。  
●市民の声を反映した計画策定  
●市民意識調査結果は市政に生かされているか。  
●生かされていることが可視化できるよう努めたい。  
●軍都・柏の歴史を収集・保存  
●戦争遺跡の保存や戦争体験の聞き取りを。  
●未来への責任と考える。  
●医療・福祉について  
●新しい子宮がん検診と啓発活動への評価は。  
●検査精度が高まった。若い世代への啓発を強化する。  
●増加が予想される成年後見制度への体制と対応策は。  
●市民後見人も養成する。  
●介護予防・日常生活支援総合事業について本市の方針は。  
●支え合う地域を整備する。  
●防災と市民の安全を守る行政  
●家屋の老朽化への対応は。  
●耐震改修費の助成を行う。

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

# 柏愛倶楽部

## 永野正敏

●救急体制  
●24時間体制で医師や看護師から無料で相談を受けられるシステムを採用している自治体がある。市民の安心感や救急車両出動の抑制につながるのでは。  
●効果が期待できる反面、費用対効果の面からも、その導入効果の判定は難しい。  
●防災  
●震災時の防火の切り札として感震ブレイカー(※)がある。普及のためにも購入補助を。  
●補助は行っていないが、設置や必要性について周知を図ってきた。補助導入の必要性について今後検討していく。

●地域で見守り、支える子育て子ども一〇番の家と子ども接点をふやす取り組みを。日常から体制を整えたい。  
●居場所づくりや貧困対策として、子ども食堂を推進しては。実態を調査し、検討する。  
●子ども子育て支援制度  
●小規模保育園への見解は。  
●こども園と私立認可保育園を優先し、補完的に整備する。  
●市民の声を反映した計画策定  
●市民意識調査結果は市政に生かされているか。  
●生かされていることが可視化できるよう努めたい。  
●軍都・柏の歴史を収集・保存  
●戦争遺跡の保存や戦争体験の聞き取りを。  
●未来への責任と考える。  
●医療・福祉について  
●新しい子宮がん検診と啓発活動への評価は。  
●検査精度が高まった。若い世代への啓発を強化する。  
●増加が予想される成年後見制度への体制と対応策は。  
●市民後見人も養成する。  
●介護予防・日常生活支援総合事業について本市の方針は。  
●支え合う地域を整備する。  
●防災と市民の安全を守る行政  
●家屋の老朽化への対応は。  
●耐震改修費の助成を行う。

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

## 山下洋輔

●柏駅前の歩行者優先とバリアフリーのまちづくりについて  
●職員体制は十分か。  
●関係機関と調整を進める。  
●柏駅前のイメージアップ  
●客引きやスカウト、チラシ配りへの取り締まり強化を。  
●警察・官民一体でパトロールし、迷惑行為撲滅に努める。  
●自転車政策  
●柏駅前から手賀沼までを結ぶ自転車道の整備を。  
●旧水戸街道の旧平安閣脇跨線橋までモデルとして整備する。

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

●子育て環境  
●子育て環境を充実させるには職場の理解や協力が不可欠だ。市内企業への働きかけは。  
●ワークライフバランスを進めている企業の表彰や、育休休業法の改正や支援策等、企業に役立つ情報を発信している。  
●市役所職員に対する取り組みは。  
●上司の意識改革が必要と考え、講習等を充実させていく。職場全体で子育てを応援する雰囲気づくりに努める。  
●投票率向上へ  
●若年時から選挙や政治に多く触れることが必要だ。投票所事務従事や模擬選挙の実施を。  
●体験的に学習できる機会をもっとふやしていきたい。  
●主権者教育を充実させるべきでは。  
●有用な手段として捉えているのでしっかりと取り組む。  
●情報モラル教育  
●ネット上でのトラブルに巻き込まれないためにも、早い時期から取り組むべきでは。  
●もちろん早期の教育は必要であるが、小学校低学年へは保

### 請願・陳情の方法

行政などへの要望を「請願」「陳情」として文書で議会に提出することができます。

- 請願 本会議・委員会で審議されます。内容に賛同する紹介議員(柏市議会議員)の署名か記名押印が必要。
- 陳情 全議員へ写しを配付しますが、審議はされません。紹介議員は不要。
- 提出方法 任意の用紙に代表者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、押印の上、件名、具体的趣旨、説明または理由などをわかりやすく記載して議会議務局へ直接お持ちください。場所を示す場合は地番を明示し、「図面」を添えてください。  
※随時受け付けていますが、請願は定例会ごとに招集日の午後5時を締め切りとしています。

※感震ブレイカー=センサーで検知した地震信号が、ある設定以上(震度6等)になった場合に、配線用ブレイカーまたは漏電ブレイカー等を遮断する信号を出すことで、電気を自動遮断するもの。